



三重県立熊野古道センターからのてがみ
 "The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

2016.冬号

通号 No.41

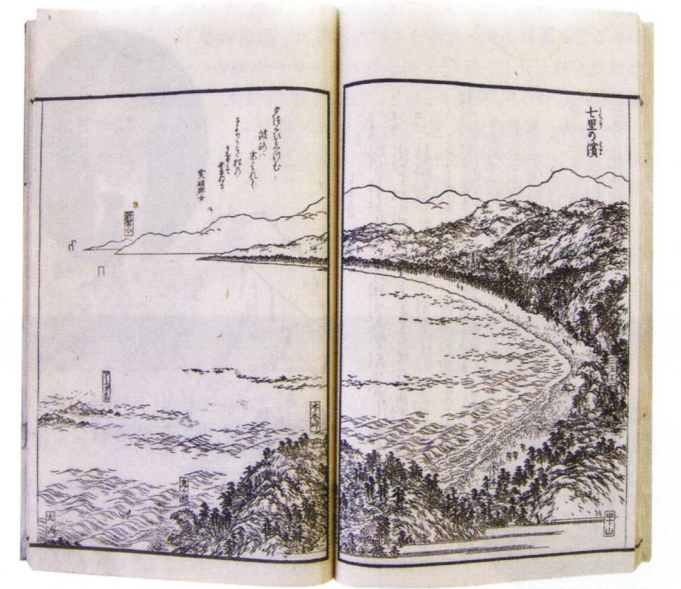
熊野古道伊勢路紀行

～神仏の聖地・熊野～

伊勢路最後の峠・松本峠を越えると、弧を描いた美しい海岸線と黒い流れが幾筋にもなって北上する大海原が目飛び込んでくる。すでにここは熊野の神域だ。神宮を発つてから早い人で4日、普通5日の行程である。ここから先は厳しい峠越えはないものの、伊勢路最後の難所といわれる海岸沿いを歩く道が待ち受けている。長い海岸線をもつこの砂利浜は、20数キロ続きそのため「七里御浜」と言われる。途中には何本もの川が海に注ぎ込み、渡しを利用する旅人がいた中で、向う岸まで歩いて渡る旅人もいた。打ち寄せる激しい波と川の流れに抵抗できない旅人は、波にさらわれ命を落とした。雨が続いた後は水かさが増し、難儀を強いられたに違いない。志半ばで亡くなった人を供養するための巡礼供養碑が街道脇にひっそりと佇んでいる。

さて松本峠を越えた旅人は、宿場町の木本を通り、イザナミノミコの御陵との伝承のある「花の窟」に着く。火の神・カクヅチノミコを産んだとき、灼かれて亡くなった場所で、日本書紀には両神を祀る日本最古の神社として記されている。社殿はなく高さ約45mの巨岩がご神体で、自然崇拜いわゆる自然物を神格化して祀られている。なお、名前の由来は、季節の花々をもって神をお祀りしたことになむ。

浜街道を歩き終えた旅人は、広い河口をもつ熊野川を渡る。平安時代より上流の熊野本宮大社と河口に広がる町・新宮とを舟が往来した「川の参詣道」として賑わいをみせた川である。下流の町新宮を見下ろす権現山の麓には熊野三山のひとつ熊野速玉大社が鎮座する。元々は権現山の大き



西国三十三所名所図会

(ゴトビキ岩)に降臨した神を現在の地に遷座したため、権現山を元宮、こちらを新宮と呼ぶようになった。
 いくつもの険しい峠、鬱蒼とした森、手入れされた竹林、山里の棚田を眺めながらようやくたどり着いた心の聖地・熊野。神仏習合の地として貴賤男女を問わずすべての人を受け入れた熊野の神。その熊野へ向かう祈りの道・熊野古道伊勢路。峻厳苦難の道歩くことによって心が洗われ、そして蘇る。地域の人の生活の道として、そして古から続く信仰の道として、今なお歩く人は絶えることはない。



熊野古道からのてがみ

41 通目

「郷土史家 芝崎 格尚と歩んだ15年の日々」

両親の病と高齢を機に園芸商社を退職して故郷御浜町に帰ってきたのは平成7年の春で、早21年の時が過ぎました。帰郷して故郷の素晴らしさを再認識すると同時に、東紀州地域活性化推進協議会(現東紀州地域振興公社)の活性化大学2期生としての活動がスタートしました。郷土史家である父と共に同じ方向で地域の活性化に取り組みながら、昔から私たちに厳しかった父に對し改めて尊敬の念を抱いたのがこの頃でした。



芝崎格尚(2005年撮影)
 東家ゆかりの和歌山県新宮市の医師であつた大石誠之助

(1867-1911)を中心とする情歌グループの句会の研究に力を入れていました。しかし、研究の中で力尽きてしまいました。今年父を見送つて7回忌を迎えるに当たり父が残した数々の貴重な資料や論文を近く三重県総合博物館に寄贈し後進の研究に役立てて戴きたいと思つています。
 最後に父の生前長きに渡りご厚情頂きました関係者の方々に心から感謝申し上げます。



芝崎 裕也さん
 (御浜町) 南紀グリーンハウス代表・園芸研究家・農業福祉研究家・環境植物研究家

筆リレー
 次は熊野市の 田垣内康夫さん

花尻薫からの季節のたより No.41

ネコヤナギはシダレヤナギに次いで有名なヤナギです。日本に約40種類ある日本産のヤナギの中では、最も早く開花する種類のひとつで、早春に銀白色の若い花穂が葉に先立って現れます。日本名は「猫柳」の意味で、毛の多いふつらとした花穂を猫の毛に見立てて名前がつけられたものです。写真は枝が立ち上がる型ですが、横に伸びるものもあります。ヤナギの仲間は雄と雌の株は別で、小型の花が多数集まって開花し、成長が極めて早くそのため短命となり、新しい幹がこれに代わるといわれています。



ネコヤナギ 別名カワヤナギ ヤナギ科

ネコヤナギは銀白色に光って非常に人目を引くため人々に親まれ、ヤナギの中でも一番俗名が多く、ネコヤナギから突然変異により生まれたクロヤナギは、開花前の花穂が黒く、異様な感じがするといわれています。ネコヤナギは水辺を好みますが、乾燥地にも自生します。水辺の風致樹として適当であり、公園や庭園でも適当であるといわれています。ネコヤナギは早春に急激に開花するため、南の方から太陽の光線を受けるため、光を受けた面が急に膨張し、先端が北の方角を指します。知らない土地で方角を知る手がかりになるといわれています。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチハイキング
 営業時間: 11:00~14:00
 料金: 中学生以上 1,200円 / 小学生以上 700円 / 4歳~小学生 300円 / 4歳未満 無料 / 60歳以上 1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。
 開館時間: 10:00~21:00
 入浴料: 一般 600円 / 65歳以上 500円 / 4歳~小学生 300円 / 4歳未満 無料

お風呂がりは、カフェでまったり♪
 営業時間: 9:00~17:00 (カフェラストオーダー 16:30)

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。

●お車で越しの方は...
 尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着。(尾鷲北ICから約10分)

●電車でお越しの方は...
 JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車
 ■松阪駅
 →南紀特急バス「熊野古道センター」行 終点下車(約2時間)

熊野古道センターニュースター
 熊野古道センターからのてがみ
 ●2016年 冬号●

- 発行日: 2016年12月10日(季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当: 東
- 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
 TEL 0597-25-2666
 FAX 0597-25-2667
 Mail info@kumanokodocenter.com
 HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間: 午前9時~午後5時
- 入場料: 無料
- 休館日: 12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道 伊勢路 通行止めのお知らせ
 熊野古道伊勢路の以下の峠道が通行止めとなっております。
 「横垣峠」
 (南牟婁郡御浜町阪本地区~神木地区)
 ※平成28年12月10日現在
 60000161210MH

